



## 大阪国際大学短期大学部と大和田幼稚園が 保育・教育・研究連携協定を締結

大阪国際大学短期大学部と幼保連携型認定こども園大阪国際大和田幼稚園は、2018年2月26日に学生並びに園児の教育を効果的に実施していくために、保育・教育・研究連携協定を締結しました。

幼児保育学科の学生に対しては、幼稚園の運動会などの行事や土曜保育に参加することができ、園児たちと触れ合いながら、実際の幼稚園の運営を学ぶことができます。連携の結果、多くの学生が保育教諭として大和田幼稚園で活躍しています。

ライフデザイン総合学科の学生に対しては、栄養士コースの学生が考えた幼児食、おやつや食物アレルギー対応のレシピなどを実際に園児に提供したり、食育の経験もすることができます。栄養士の仕事理解のため、最新設備のこども園園舎の給食施設を見学することも可能です。

一方、大和田幼稚園に対しては、短大教員が研修を実施するなど、保育教諭の専門性を高めることに尽力します。短大教員の専門性と保育教諭の現場力を融合して、他にはない保育・教育を展開していきます。

さらに、園児たちが短大施設のコンピューター演習室や図書館、人工芝グラウンド、学生食堂などの施設を利用できるようにしています。感受性豊かな幼少期に、幅広い貴重な経験となることでしょう。

## 協定記念イベント① 記念講演会概要

現在、高度情報化・夜型化した大人の生活に巻き込まれる子どもたちが増えています。そのような子どもたちは、本来の生活リズムが崩れ、不健康になるケースが非常に多くなっています。子どもたちの生活リズムで大切なのは、1日の中で睡眠、食事、活動の時間をしっかりと決めることです。特に、幼児期の子どもは、時間の感覚がはっきりとわからないので、大人が声がけをしたり、見本を示したりしながら、リズムを整えてあげることが大切です。子どもたちの健康的な生活リズムについて知ることで、私たち大人が普段の生活の中で心がけることは何かを一緒に考えてみましょう。

講師紹介：平成7年に徳島大学大学院栄養学研究科博士前期課程栄養学専攻を修了し、平成16年に同大学にて博士(栄養学)を取得。平成24年本学短期大学部ライフデザイン総合学科の准教授として就任し、平成29年より同学科教授に昇任、現在に至る。

「基礎栄養学」、「生化学」、「生理・生化学実験」などの授業科目を担当している。著書として「基礎生化学ー健康・疾病とのつながりー」、「ヒトの基礎生化学」を執筆し、これまで栄養と健康に関する多数の論文を発表している。最近では日本食育学会の理事として、保育士や養護教諭など現場で働く先生方を対象とした食育実践セミナー講師としても活動している。



## 協定記念イベント② 幼児保育体験イベント概要

90人を超える園児たちが、ビニールに絵を描き幅の広いセロハンテープでつなぎ合わせ、巨大なシートをつくり、空気のトンネルをつくらせて遊びます。高校生のみなさんは、本学学生やこども園の先生方と一緒にイベントの運営を体験してください。将来の目標である幼児保育の学習につなげられるような貴重な機会となるでしょう。

終了後、希望者のみこども園園舎(2017年4月新設)の見学ができます。



5/27(日)、6/10(日)の  
オープンキャンパス幼児保育学科ブースにて  
参加申込みを受付します。

OPEN CAMPUS 2018

4/22... 5/27... 6/10...  
7/14... 7/15... 7/29...  
8/10... 8/11... 8/19...  
9/9...